



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月20日

上場会社名 アルインコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5933

URL <http://www.alinco.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小山 勝弘

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)家塚 昭年 (TEL)06-7636-2222

四半期報告書提出予定日 平成29年8月3日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年3月21日～平成29年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,901	12.8	646	15.6	746	158.6	446	97.5
29年3月期第1四半期	10,548	△1.0	559	△15.5	288	△68.0	226	△51.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 326百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △60百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	21 78	—
29年3月期第1四半期	11 03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	50,341	25,211	49.2
29年3月期	46,431	24,825	53.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 24,766百万円 29年3月期 24,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18 00	—	18 00	36 00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	18 00	—	19 00	37 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年3月21日～平成30年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,600	12.1	1,590	3.4	1,860	73.3	1,020	41.0	49 73
通期	50,000	12.1	3,500	20.1	3,900	58.6	2,200	35.4	107 26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	21,039,326株	29年3月期	21,039,326株
30年3月期1Q	528,480株	29年3月期	528,480株
30年3月期1Q	20,510,846株	29年3月期1Q	20,510,846株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外政治情勢の不安定さなどにより先行きに不透明感が残るものの、設備投資や雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの主な関連業界である建設及び住宅関連業界におきましては、企業収益の改善を背景とした民間設備投資に持ち直しの動きがみられ、首都圏での大型建築工事の本格化や東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設需要の高まりなどにより、事業環境は堅調に推移しています。

このような状況のなか、売上高は前年同期比12.8%増の119億1百万円となりました。利益面では、営業利益が売上高の増加によって前年同期比15.6%増の6億46百万円となり、経常利益は為替予約によるヘッジ効果もあり前年同期比158.6%増の7億46百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比97.5%増の4億46百万円となりました。

なお、平成29年3月31日付で双福鋼器株式会社の株式を取得し同社を子会社化したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含め、報告セグメントを建設機材関連事業としております。

各セグメントの状況は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

セグメントの名称	売上高		セグメント利益	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
建設機材関連事業	4,228	28.8	465	34.1
レンタル関連事業	3,678	8.5	43	—
住宅機器関連事業	3,005	△0.4	198	162.0
電子機器関連事業	987	15.4	45	△23.9
報告セグメント計	11,901	12.8	753	61.4
調整額	—	—	△6	—
四半期連結損益計算書計上額	11,901	12.8	746	158.6

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

建設機材関連事業

当事業の売上高は、前年同期比28.8%増の42億28百万円となりました。社会インフラの改修整備や耐震・リフォーム工事などの堅調な需要を背景にした意欲的なレンタル会社の投資姿勢により、新型足場「アルバトロス」やアルミ作業台などの販売が好調に推移しました。

損益面では、売上高の増加によってセグメント利益は前年同期比34.1%増の4億65百万円となりました。

レンタル関連事業

当事業の売上高は、前年同期比8.5%増の36億78百万円となりました。低層用レンタル部門の売上高が前年同期を上回って好調であったほか、中高層レンタルにおいても機材稼働率が期初から好調に推移しました。

損益面では、積極的なレンタル資産への投資により減価償却費は増加しましたが、売上高の増加によってセグメント利益は前年同期の16百万円の損失から59百万円増の43百万円となりました。

住宅機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比0.4%減の30億5百万円となりました。アルミ製品の販売が、好調な企業収益を背景に設備投資意欲の高まりから機械工具ルートや通販ルート向けを中心に堅調に推移しました。

損益面では、為替予約によるヘッジ効果によってセグメント利益は前年同期比162%増の1億98百万円となりました。

電子機器関連事業

当事業の売上高は、前年同期比15.4%増の9億87百万円となりました。特定小電力無線機や業務用無線機の新製品の販売が期初から好調に推移したほか、防災行政無線の受注も堅調に推移しました。

損益面では、前年5月末にデジタル化への移行期限を迎えた消防無線機の売上減少による利益率の低下により、セグメント利益は前年同期比23.9%減の45百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は503億41百万円となり、前期末に比べ39億9百万円増加しました。総資産の内訳は、流動資産が299億92百万円（前期末比13億54百万円増）、固定資産が203億48百万円（前期末比25億55百万円増）であります。総資産の主な増加要因は、当第1四半期連結会計期間から双福鋼器株式会社を連結の範囲に含めたことによって、受取手形及び売掛金や有形固定資産が増加したことによります。

負債は、251億30百万円となり、前期末に比べ35億23百万円増加しました。その内訳は、流動負債が161億19百万円（前期末比16億43百万円増）、固定負債が90億10百万円（前期末比18億79百万円増）であります。負債の主な増加要因は、双福鋼器株式会社を連結の範囲に含めたことや、運転資金の増加に対応した借入金の増加であります。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が4億46百万円となり剰余金の配当を3億69百万円実施したことや、非支配株主持分が増加したことなどにより、252億11百万円（前期末比3億86百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成29年5月2日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,316,516	6,071,985
受取手形及び売掛金	12,860,588	14,250,665
商品及び製品	5,933,600	6,071,224
仕掛品	744,326	788,330
原材料	1,739,915	1,777,450
繰延税金資産	266,828	375,928
その他	785,881	669,046
貸倒引当金	△9,522	△11,960
流動資産合計	28,638,135	29,992,671
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産	21,668,173	22,174,040
減価償却累計額	△17,812,445	△18,036,926
減損損失累計額	△105,835	△106,270
レンタル資産(純額)	3,749,892	4,030,843
建物及び構築物	7,750,767	10,484,640
減価償却累計額	△4,287,938	△6,223,087
建物及び構築物(純額)	3,462,828	4,261,552
機械装置及び運搬具	2,138,934	4,134,163
減価償却累計額	△1,303,326	△3,034,568
機械装置及び運搬具(純額)	835,608	1,099,595
土地	3,522,194	3,996,179
その他	2,848,606	3,207,509
減価償却累計額	△2,272,083	△2,750,477
減損損失累計額	△30,315	△30,315
その他(純額)	546,207	426,716
有形固定資産合計	12,116,731	13,814,888
無形固定資産		
のれん	196,633	906,350
その他	224,544	278,214
無形固定資産合計	421,178	1,184,564
投資その他の資産		
投資有価証券	1,565,449	1,575,306
長期貸付金	631,690	743,659
退職給付に係る資産	1,938,551	1,949,718
繰延税金資産	27,039	27,606
その他	1,096,513	1,056,140
貸倒引当金	△3,431	△3,050
投資その他の資産合計	5,255,813	5,349,381
固定資産合計	17,793,723	20,348,833
資産合計	46,431,859	50,341,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,334,129	7,921,451
短期借入金	4,430,496	4,561,847
未払法人税等	731,778	391,697
賞与引当金	629,092	335,463
リコール損失引当金	9,975	7,880
その他	1,340,206	2,900,924
流動負債合計	14,475,677	16,119,264
固定負債		
長期借入金	5,761,259	7,296,984
退職給付に係る負債	103,445	177,721
役員退職慰労引当金	198,682	198,682
関係会社事業損失引当金	137,210	137,210
繰延税金負債	614,572	835,406
その他	315,777	364,764
固定負債合計	7,130,946	9,010,769
負債合計	21,606,624	25,130,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,361,596	6,361,596
資本剰余金	4,812,424	4,812,424
利益剰余金	12,641,180	12,718,740
自己株式	△172,128	△172,128
株主資本合計	23,643,074	23,720,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	524,166	528,596
繰延ヘッジ損益	156,953	122,333
為替換算調整勘定	316,390	249,791
退職給付に係る調整累計額	166,586	145,431
その他の包括利益累計額合計	1,164,097	1,046,152
非支配株主持分	18,063	444,684
純資産合計	24,825,234	25,211,470
負債純資産合計	46,431,859	50,341,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年6月20日)
売上高	10,548,915	11,901,086
売上原価	7,557,276	8,541,427
売上総利益	2,991,639	3,359,658
販売費及び一般管理費	2,432,486	2,713,110
営業利益	559,153	646,548
営業外収益		
受取利息	4,208	9,377
受取地代家賃	15,342	14,750
為替差益	-	23,977
作業屑等売却益	9,025	43,617
持分法による投資利益	21,242	-
その他	24,197	34,608
営業外収益合計	74,016	126,331
営業外費用		
支払利息	14,262	11,113
支払地代家賃	6,115	6,115
為替差損	312,027	-
持分法による投資損失	-	1,392
その他	12,077	7,676
営業外費用合計	344,482	26,297
経常利益	288,686	746,582
特別利益		
有形固定資産売却益	71	343
補助金収入	103,019	-
特別利益合計	103,090	343
特別損失		
有形固定資産除売却損	272	3,946
投資有価証券売却損	26,032	-
特別損失合計	26,304	3,946
税金等調整前四半期純利益	365,472	742,979
法人税、住民税及び事業税	178,121	354,759
法人税等調整額	△29,402	△57,359
法人税等合計	148,718	297,400
四半期純利益	216,754	445,578
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,454	△1,176
親会社株主に帰属する四半期純利益	226,208	446,754

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年6月20日)
四半期純利益	216,754	445,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,245	4,430
繰延ヘッジ損益	△76,271	△34,620
為替換算調整勘定	△181,731	△66,375
退職給付に係る調整額	△7,220	△21,154
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,234	△1,431
その他の包括利益合計	△277,704	△119,152
四半期包括利益	△60,950	326,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,905	328,810
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,044	△2,384

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年3月21日 至 平成28年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,284,044	3,390,044	3,019,070	855,756	10,548,915	—	10,548,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	400,134	366	311,410	6,242	718,153	△718,153	—
計	3,684,179	3,390,411	3,330,480	861,998	11,267,069	△718,153	10,548,915
セグメント利益又は損失(△)	346,873	△16,259	75,860	60,376	466,851	△178,164	288,686

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△178,164千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年3月21日 至 平成29年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設機材 関連事業	レンタル 関連事業	住宅機器 関連事業	電子機器 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,228,974	3,678,467	3,005,777	987,867	11,901,086	—	11,901,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	671,114	143	47,317	8,088	726,663	△726,663	—
計	4,900,088	3,678,610	3,053,094	995,955	12,627,749	△726,663	11,901,086
セグメント利益	465,289	43,416	198,733	45,960	753,399	△6,817	746,582

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△6,817千円は全社損益であります。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない為替差損益や支払利息などの営業外収益及び営業外費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

建設機材関連事業セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間に、双福鋼器株式会社の株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第1四半期連結累計期間において723,762千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。